速度違反の取締り

警察庁交通局

第１回懇談会における意見集約結果

１　交通取締りと交通事故の関係

２　交通事故抑止に資する速度取締りの在り方

３　交通取締りの必要性について、いかにして国民に理解を求めるか

４　その他

１　速度取締りの方法

２　速度取締りの必要性

３　平成24年中の速度違反取締り件数

４　速度取締りの管理

１　速度取締りの方法

(1) 定置式

・レーダ式

・光電式

・レーダパトカー

(2) 追尾式

・パトカー

・白バイ

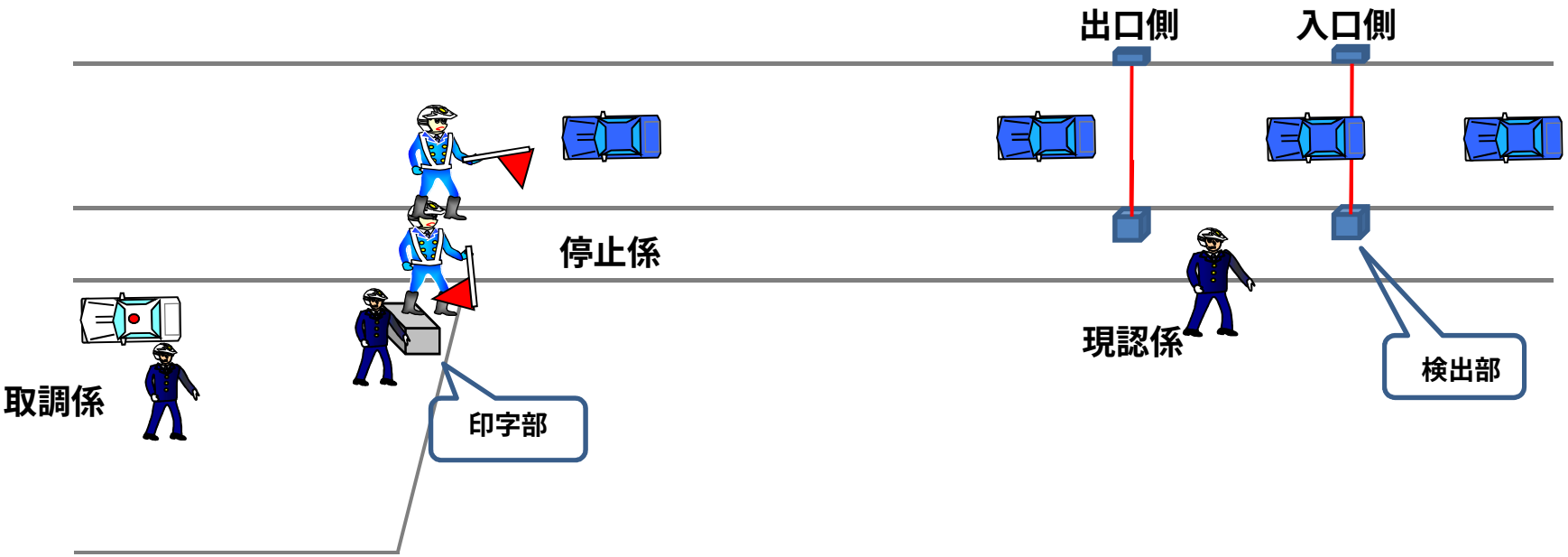
(3) オービス

・固定式

・移動式

(1) 定置式(レーダ式)による速度取締り

(2) 定置式(光電式)による速度取締り

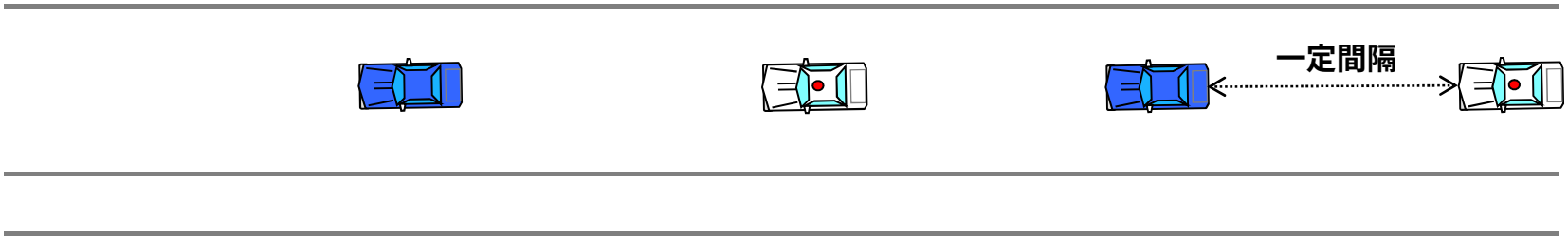


(3) レーダパトカーによる速度取締り

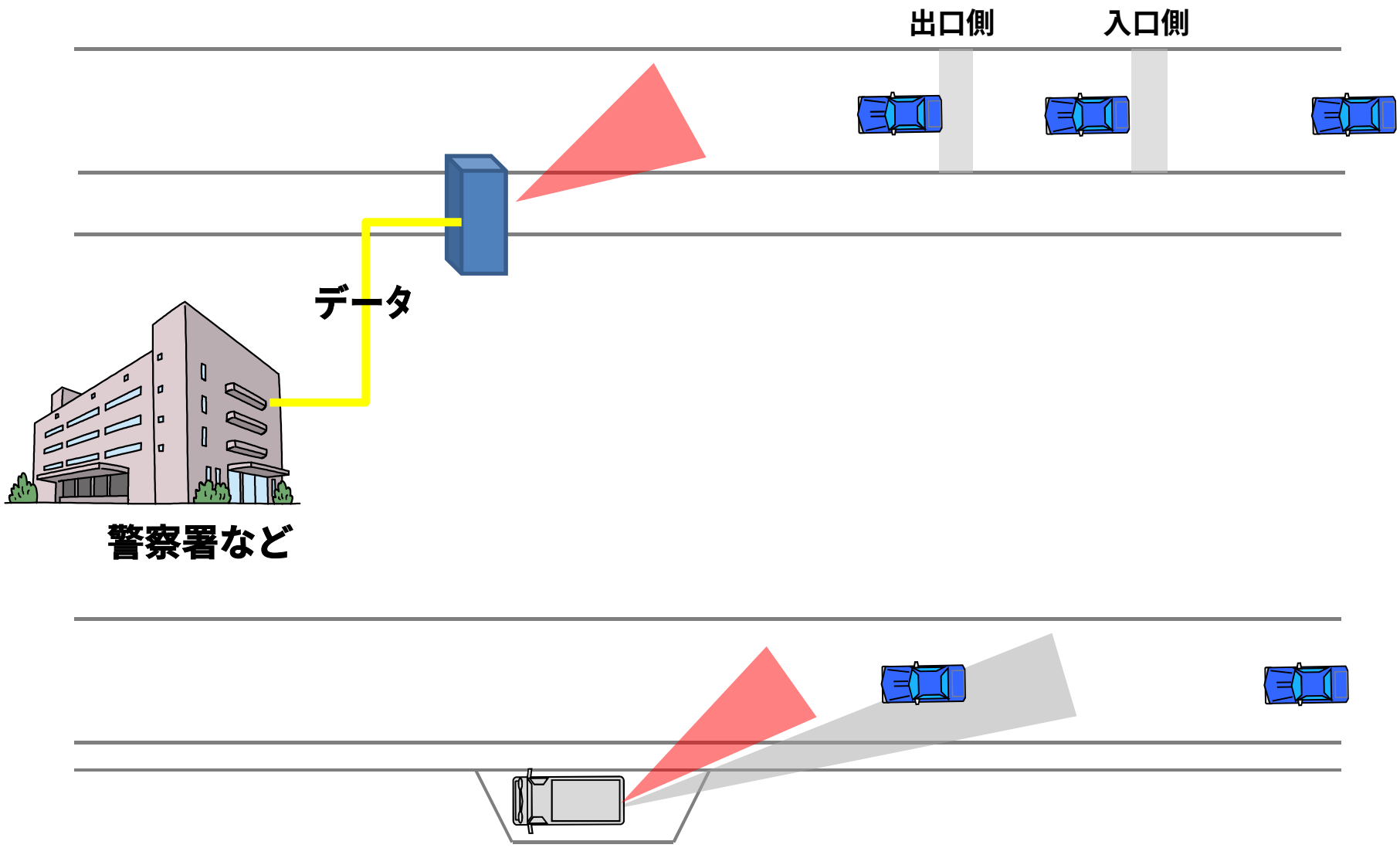
停止型

走行型

(4) 追尾式（パトカー等）による速度取締り

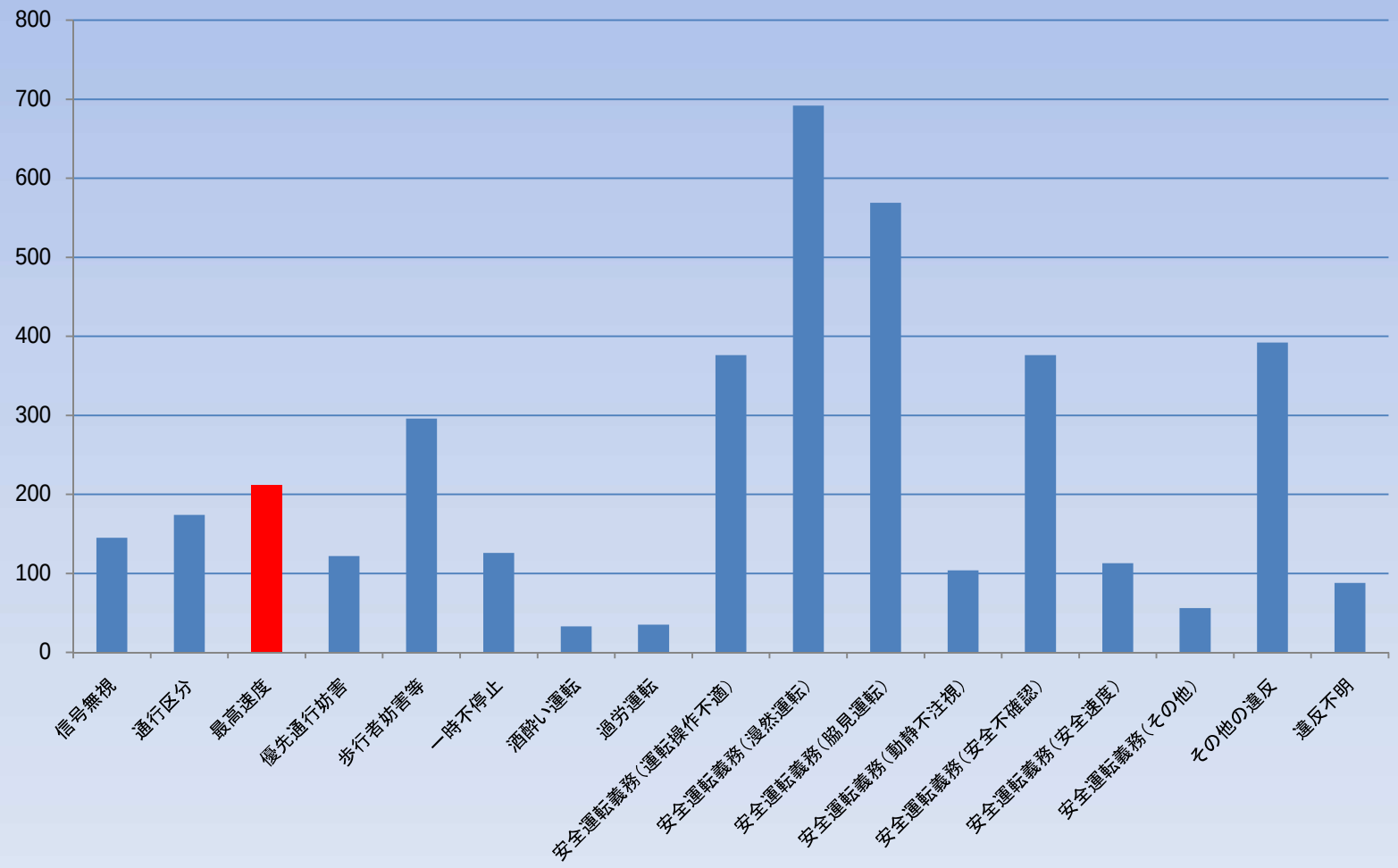


(5) オービス（固定式・移動式）による速度取締り



2　速度取締りの必要性

(1)　平成24年中の法令違反別死亡事故件数



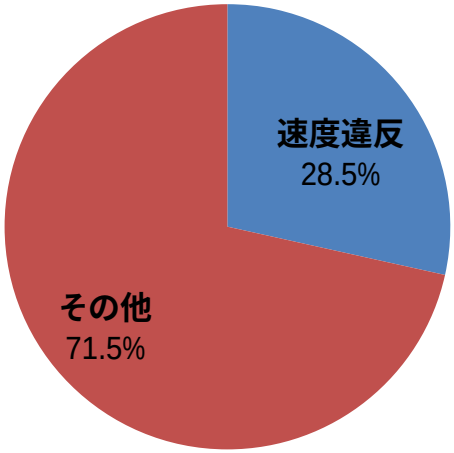
※ 第1当事者が原付以上の車両によるもの

(2)　平成24年中の規制速度超過に伴う事故件数

	交通事故件数（件）				うち死亡事故件数（件）			
		うち規制速度超過（件）		うち規制速度と同等以下（件）		うち規制速度超過（件）		うち規制速度と同等以下（件）
	a	b		a－b	c	d		c－d
全体	629147	28813	4.6%	600334	3734	1353	36.2%	2381
人対車両	56111	2505	4.5%	53606	1419	514	36.2%	905
車両相互	550322	22033	4.0%	528289	1588	476	30.0%	1112
車両単独	22714	4275	18.8%	18439	727	363	49.9%	364

※ 第1当事者が原付以上の車両によるもの

３　平成24年中の速度違反取締り件数

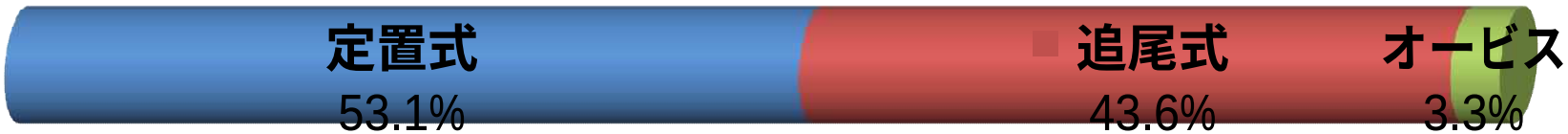


告知、送致件数に占める速度違反の割合
※総件数から点数告知、放置違反金納付命令を除いたもの。

違反行為	取締り件数
50km以上	24,236件
50km未満	284,051件
30km未満	395,015件
25km未満	802,358件
20km未満	715,420件
15km未満	40件
合計	2,221,120件

※電算資料による。

取締り方法別の検挙割合（平成24年中）



４　速度違反取締りの管理

定置式速度違反取締りの特性

(1) 事故抑止効果を最大限に発揮するためには、実施場所や時間などについて検討を行う必要がある

(2) 高速で走行する車両を停止させるなどの危険を伴う

「定置式速度違反取締りカード」を運用

「定置式速度違反取締りカード」（モデル案）

別添1

署(隊)長	副署(隊)長	課長等

平成　　年　　月　　日
階級
氏名

定置式速度違反取締りカード(モデル案)

日　時	平成　　年　　月　　日	午前・後　　時　　分から 午前・後　　時　　分まで	
場　所	先道路		
	路　線　名		車線数（片側　　）車線
	交通規制	法定・指定（　　）km/h	標識の視認性（良好・不良）
	当該取締場所は、自動車専用道路(自動車専用(325)の規制標識の設置がある道路)で ある　・　ない ※ 自動車専用道路に該当すれば、速度超過40キロメートル毎時未満の違反行為は反則行為となる。		
取締りの必要性	□ A 過去1年以内に交通事故が多発している区間・時間帯である。 □ B 道路交通環境に照らし交通事故発生の危険性が高い区間・時間帯である。 □ C 暴走行為が多発している区間・時間帯である。 □ D 住民の取締り要望が高い区間・時間帯である。 □ E その他取締りを行う必要がある区間・時間帯である。 〔　　〕		
	□ 夜間の場合、道路照明（有・無）		
	□ その他〔　　〕		
備　考			